



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2018

7月27日号

165
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

未だに残る東日本大震災と 原発事故の影響 (2)



副会長 草野 義直

(前回からの続きとなります) 今年の1月2月はとても厳しい寒さでしたが、3月は一転暖かくなり、いわき地方のソメイヨシノは例年より9日早く3月28日に開花し、開花から散るまでの間、雨がほとんど降らず、十分に桜を鑑賞できました。

桜の満開から20日ほど経つと、梨の花が満開となり、梨栽培の農家の皆さんは、人工授粉作業で忙しくなり、同時に里山は山菜が芽吹きだす季節となります。山菜のコシアブラの採取は梨の花が満開になって10日後くらいが最適です。

原発事故2年後の2013年(前回の巻頭言で2012年としましたが、2013年の間違いでした) コシアブラ採りに山へ入り、大量に採取できたコシアブラを放射線測定してもらうため、1kgをフードプロセッサーでみじん切りにして測定所へ持ち込みました。結果は、Cs137が210Bq/Kg、Cs134が112Bq/Kg合計322Bq/Kg。検査員の方に「これは食べてもいいんですか」と聞いたら、「100Bq/Kgを越していますので販売はできませんが、個人での消費は自己責任で…」とのこと。悔しいので、家に帰ってからみじん切りを免れたものを、天ぷらにして食べてやりました。

Cs137の半減期はおよそ30年、Cs134は2年ですが、生物学的半減期は90日とされています。コシアブラの木はどうなのだろうと思い、2017年も採取に出かけてみましたが、結果は、Cs137が242Bq/Kg、Cs134が33Bq/Kg、合計275Bq/Kg。

仮に原発事故当時Cs137とCs134が同量飛散したと仮定すると、2013年のCs134の放射能がCs137のおよそ1/2、2017年が1/8となったことは、妙に納得できる値でした。ただ、Cs137の値が2013年よりも2017年のほうが大きく出たことに関しては、採取場所の違いがあるにしても、何か恐ろしさを感じます。

Csは水に溶けやすらしく、かつ腐葉土が厚く堆積しているため、根から吸収されたCsが秋の落葉で降り積り、腐葉土になる循環ができていのでしょうか？

何か不安がらせてしまいましたが、もちろん、店頭に並んでいる米、果物、野菜類や魚介類等は、まったく問題ありませんので、安心して消費していただけます。

ただ悲しいことに、県内の一部の地域の一部のものは出荷が制限されているのも事実です。

一日も早く、避難している皆さんが復興した故郷に帰り、原発事故の影響がなく元の自然豊かな環境になる日が来ることを、切に切に願います。

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久 保 均

前は、カリキュラムポリシーについてご紹介しました。今回は、ポリシーとしては3つめのアドミッションポリシーについてご説明いたします…と続けるつもりでしたが、またまたビッグニュースがあります。私ども新医療系学部設置準備室に、新たな仲間に加わっていただきました。今回は、新しく着任されました先生をご紹介いたします。

田代雅実(たしろまさみ)先生が、平成30年7月1日付けで福島県立医科大学附属病院放射線部から本室助手としてご着任されました。専門は救急画像診断技術学で、DMAT隊員でもあります。もちろん起こって欲しくはありませんが、災害などが生じた場合には私ども新学部からもDMATの一員として参加していただきます。また、放射線災害を経験したここ福島で、放射線災害にも対応できる診療放射線技師の養成に携わっていただきます。我々放射線では初の福島生え抜きの先生となりますのですでにご存じの先生方も多いと思いますが、今後は立場を変えて皆さまと一緒に活動していきます。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

以下は、ご本人からのご挨拶です。



福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 田 代 雅 実

本年7月より福島県立医科大学新医療系学部設置準備室に着任しました、田代雅実と申します。2000年より福島県で診療放射線技師として働いており、各種研究会や学会、また災害医療での活動に際しお世話になっている方々も多数おられます。この場をお借りし御礼申し上げます。

せっかくの機会ですので、簡単に経歴をご紹介します。生まれは岩手県で2000年に千葉大学医学部附属診療放射線技師学校を卒業し、太田総合病院で10年間幅広い分野のモダリティを経験させていただきました。2009年より福島県立医科大学附属病院に異動し一般撮影、CT撮影を中心に業務をさせていただきました。2011年の東日本大震災での被災を契機にDMAT隊員としての活動も多くさせて頂いております。昨年、福島県立医科大学大学院災害・被ばく医療科学共同専攻にて修士を取得し、現在同大学院の博士課程に在籍しています。

今後は教員として、福島医科大学の新学部設置準備に携わりながら、学生として学位取得を目指すことになります。そして割合は減りますが、診療放射線技師として継続して臨床の現場でも働かせて頂きます。

今後も皆様に色々な場所でお会いする事があると思います。皆様のご指導を何卒よろしくお願い致します。

趣味：野球。好きなもの：エビ、カニ、マヨネーズ、アルコール。嫌いなもの：こんぶ。

似ていると言われた事がある人：原田雅彦(スキージャンプ)、松坂大輔(中日)、金子千尋(オリックス)、えなりかずき(こうらく)。

＜新医療系学部設置準備室からのお願い＞

先生方も、学生時代にX線管球や絞りなど機器類のパーツを実際に手に取って見て勉強したかと思います。私どもは全く新しく学部を設置しますので、このようなストックが全くありませんしパーツ毎では購入もできません。そこでもし可能でしたら、先生方の病院の装置更新などに伴う廃棄機器類で不要になるパーツがありましたら、学生教育用にお譲りいただけませんか？あるいは、歴史的なパーツがなぜか置いてあるけどもう要らない、というもののでも結構です。このようなことがありましたら、是非ともご一報いただければ幸いです。ご相談させていただき、こちらで引き取り可能なパーツなどをいただきに伺います。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

～会長 「オンレコ」～

1 「第7回 県定時総会」

5月26日に会津若松市で、第7回定時総会を開催しました。今年度は役員改選がなく、活動を継続して行っています。数名の会員より質問がありましたが、真摯に受け止めて修正する点は修正して行きます。第4号議案では、会費未納3年が経過した会員の除名1名について協議して可決されました。

2 「第79回 日放技定時総会」

6月2日に東京大手町で、第79回定時総会が開催されました。福島県の代議員数は3名で、鈴木副会長と阿部財務理事と一緒に出席しました。

山形県より、女性推進事業の運用費が何の通告もなく一方的に30万から20万に減った事の批判意見がありました。また、国際交流と名前は良いが実態は会長・副会長のみの海外学会参加で、会員には全くメリットがないとの意見も出されました。29年度は単年度で大きな赤字を出し、30年度は各事業について減額をする方針です。別件でも執行部の横暴に対して、北海道からは連名で抗議

文が提出されていました。

平成30年度事業案・予算案は、北海道・東北から反対・保留が多く出ました。私と阿部理事も保留しましたが、全国的には賛成多数で可決されています。少数とはいえ反対や保留票の意味を、執行部は厳粛に考えて活動を行って欲しいと考えます。

会費改正では、65歳以上で会費が15000から8000円に減額される事が決まりました。

その後は、役員改選の投票があり立候補・推薦の全員が当選を果たしました。ただ、後日に集計結果が間違っていた事が判明して修正を行いました。

3 「医療体験セミナー」予定

昨年に引き続き、医療に興味のある県内中学生500名に対して診療放射線技師の仕事について説明を行う予定です。スライドやビデオでの技師紹介、擬似撮影体験、3次元作成等を行います。今年も福島医大久保教授やアミン須藤さんにも協力していただきます。

県技師会事務所の必要性について

会長 新 里 昌 一

県技師会では、公益法人に移行時から事務所拡充積立金を行って来ましたが、現在までは元会長・副会長等のご自宅を事務所として登録して使わせていただいていた。このままでは、任期ごとに事務所住所が変わる事態になります。また、公益法人として数年ごとに県の監査がある予定です。福島県は幸い監査がまだ行われていませんが、いざ監査の時には各資料・書類は1つに纏まっていないと対応出来ません。現在は、会長や事務局・会計等で別々に保管させております。総会等で皆さんに提出していただいた委任状も、その総会が本当に正立している証拠として保管が必要です。青森県等では厳しい監査があると聞いています。今年初めて福島県庁より、電話での指導がありました。

更に県立福島医大放射線部には、過去の物品や書類・会報が大量に保管されています。いつまでもこのまま間借り

している事は出来ません。保管に関しては、倉庫等も良いですが全て1つに纏めて置きたいと考えます。ただし、測定器等は空調の関係もあり医大に置かせていただきます。

東北各県技師会には事務所があり、事務員を置いている県もあります。ただ単なる倉庫では、定期的に県庁や日放技、各団体からの郵便物が届くので、何処かの施設の近くが良いとも考えます。週何回かは郵便物を取りに行く必要があるからです。

理事会として、昨年度よりワーキンググループを立ち上げて賃貸か購入、候補地等を検討しています。事務所確保の際には、室内の備品等を皆さんで不要となった本棚や机を貰うとか、賛助会員から寄付していただく等で費用を抑えるつもりです。皆さんからの会費を無駄には使いませんので、事務所拡充についてのご理解ご協力をお願いいたします。

地 区 だ よ り

会 津 地 区

「第7回福島県放射線技師会定時総会」開催

平成30年5月26日(土)神楽想(会津若松市)にて行われました。先ず、各分科会及び部会より、基本的な活動内容や昨年度の研究会の報告がありました。CT分科会からは、「ビギナーズセミナー」が「テクニカルセミナー」に名称を変更された旨の報告がありました。

続きまして、一般公開特別講演「お悔みに関する豆知識」と題しまして、フューネラルプランナー(一級葬祭ディレクター)浅野 ひろみ氏にご講演頂きました。

言葉使いにおいて、「元気を出して下さい」などの励ましの言葉はご遺族との会話では絶対的に禁句であり、故人を弔うことを意味する「お悔やみ申し上げます」や、ご遺族に対するお悔やみを意味する「ご愁傷様でございます」を使用する事が望ましいとご教示くださいました。また、「哀悼の意を表します」は弔電のみで使用でき、「ご愁傷様

です」はご遺族との会話のみで用いられる言葉です。

今回の特別講演では、大変貴重なお話が聞けたのではないかと思います。定時総会では、自分も書記として参加させていただきまして、議事も無事に全て承認され終了いたしました。



(板橋)

「平成30年度会津乳房撮影研究会」開催

H30年5月31日(木)に竹田綜合病院にて行われました。

はじめに代表世話人の松野桂子さんから今年度の乳癌検診について話があり、その後竹田総合病院、会津中央病院、有隣病院からそれぞれ症例発表がありました。マンモグラフィでは腫瘍を指摘できずエコーで見つかった乳癌、男性乳癌、造影MRIで典型的な染まりを示さない乳癌など症例は様々で、会津地区の各施設と情報を共有できる貴重な場となりました。



(佐藤)

「平成30年度第1回会津地区協議会委員会」開催

平成30年7月11日(水)竹田総合病院にて行われました。

今年度から委員になられた方々の自己紹介からはじまり、次に鈴木委員長からの理事会報告がありました。そして県技師会委員、地区協議会委員から必要事項が伝えられ、今年度の事業について話し合いが行われました。



(佐藤)

《平成30年度知事表彰》

県政の発展や住民福祉の向上に多大の貢献があったことを認められ今年度、下記の会員が内堀知事より表彰されました。

「保健衛生功労賞」

会津地区 佐藤医院

(元 竹田総合病院 放射線科 課長)

白 川 義 廣

受賞者一覧等は福島県ホームページで確認できます。

《研究会報告》

放射線技師のためのフレッシューズセミナー

開催 平成30年6月17日(日) 太田西ノ内病院

「フレッシューズセミナーを受けて」

医療安全や感染対策の講義では自分が勤める病院でも同様の講義を受けていたため、気をつけるべきことや日頃から実践していけることを改めて再確認することができました。また気管支解剖の講義では分岐やリンパ節の位置など、大学の講義で詳しく学習しなかった内容を講義していただき、とても有意義な時間でした。そして胸部撮影に関する講義では実際の画像を見ながら読影に関する知識を得ることができました。

このセミナーを通して、診療放射線技師としての心構えや知識だけでなく、他施設の新人技師との横の繋がりを持つことができました。今後開催される学会や勉強会でその繋がりを活かし、自分の技術を向上させていきたいと考えています。

最後に、このようなセミナーを開催して下さった日本診療放射線技師会ならびに福島県診療放射線技師会の皆様にこの場で感謝申し上げます。

福島赤十字病院 穴戸 聡美

「フレッシューズセミナーに参加して」

医療の現場では医療安全は欠かすことのできないものであり、気を付けて業務をしていても小さなミスが起きてしまいます。ヒューマンエラー防止のために指さし確認、タイムアウト・タッチアンドコール、KYT、5S活動が有効であると学びました。特に、指さし確認、5S活動が日頃の業務で意識して取り組みやすいものだと感じました。

医療安全の中のひとつに感染対策があります。その中でも最も多いのが接触感染であり、私たち技師が業務を

する中で一番身近な感染のため、感染対策に対する正しい知識を理解することで感染拡大防止につながることを学びました。感染拡大防止には、感染経路を遮断することが効率的であり、効果的であると知り、これらの感染経路予防策すべてに標準予防策が必要であるとわかりました。

今回のセミナーでは、小さな心掛けと強い個人の意識づけが大切だと実感し、そのひとつひとつの心掛けが医療安全対策の柱になると学び今後活かしていこうと思いました。

呉羽総合病院 赤川 紋加

《おしらせ》

平成30年度（公社）福島県診療放射線技師 学術大会開催と演題募集開始のお知らせ

開催日：平成30年11月11日（日）

大会長：新里 昌一（公社）福島県診療放射線技師会 会長
実行委員長：佐藤 孝則（公社）福島県診療放射線技師会 学術委員長
会場：ボラリス保健看護学院 メグレスホール
主催：公益社団法人 福島県診療放射線技師会

<演題募集期間>

2018年（平成30年）7月2日（月）～8月26日（日）

「学術大会演題申込み」ページ内の「学術大会演題募集要項」を参照頂き、申し込みをお願いします。

<登録に関する問い合わせ>

（公社）福島県診療放射線技師会 学術
e-mail : gakuju@fart.jp

平成30年度第1回 統一講習会（福島県）の お知らせ

日時：平成30年8月4日（土）、8月5日（日）

会場：南東北がん陽子線センター2階会議室

※参加申し込みは7月22日に終了しております。

第2回は10月または11月頃 大原総合病院（福島市）で開催予定です。日程は決まりましたら技師会ホームページにてご案内いたします。

第18回 福島県乳腺画像研究会のお知らせ

日時：平成30年9月8日（土）

会場：ホテルバーデン郡山

第8回 福島救急撮影カンファレンスのお知らせ

日時：平成30年9月29日（土）

会場：郡山ビューホテル

公益社団法人 日本放射線技術学会 関東支部
平成30年度 第2回 関東Angio研究会 5周年記念セミナー

5th Anniversary 関東Angio研究会

日時 / 9月24日（月・祝）
9:55～16:40（9:20受付開始）

これから始める

- ① 大動脈STENT
- ② アブレーション
- ③ TAVI
- ④ 心電図
- ⑤ PCI
- ⑥ 心構造疾患（SHD）

あなたにこれだけは伝えたい!!

特別講演
これから始める心臓・大血管IVR
関東Angio研究会発足の軌跡
山梨大学医学部附属病院 坂本 肇

会場：横浜市南公会堂 「みなみん」
〒232-0024
神奈川県横浜市南区蒲舟2-33南区総合庁舎内
<http://www.minami-kokaido.jp/access.html>

募集定員：300名（先着順）
参加費：JSRT会員 1,000円 / 非会員 2,000円
申込期間：平成30年8月6日（月）～9月9日（日）
申込方法：関東Angio研究会ホームページより
<http://jrt-kanto.org/category/angio/>

問合せ先
横浜国立大学附属病院 放射線部
石川 栄二 e-mail: cqa1023@yokohama-cu.ac.jp

**会費の納入は
お済ですか？
納入は9月末までに
お願いします。**

編集後記

暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は夏バテ気味ですが、広報を通じて今後もわかりやすい記事を提供できるように、お手伝いしていきたいと思っております。

（佐藤）